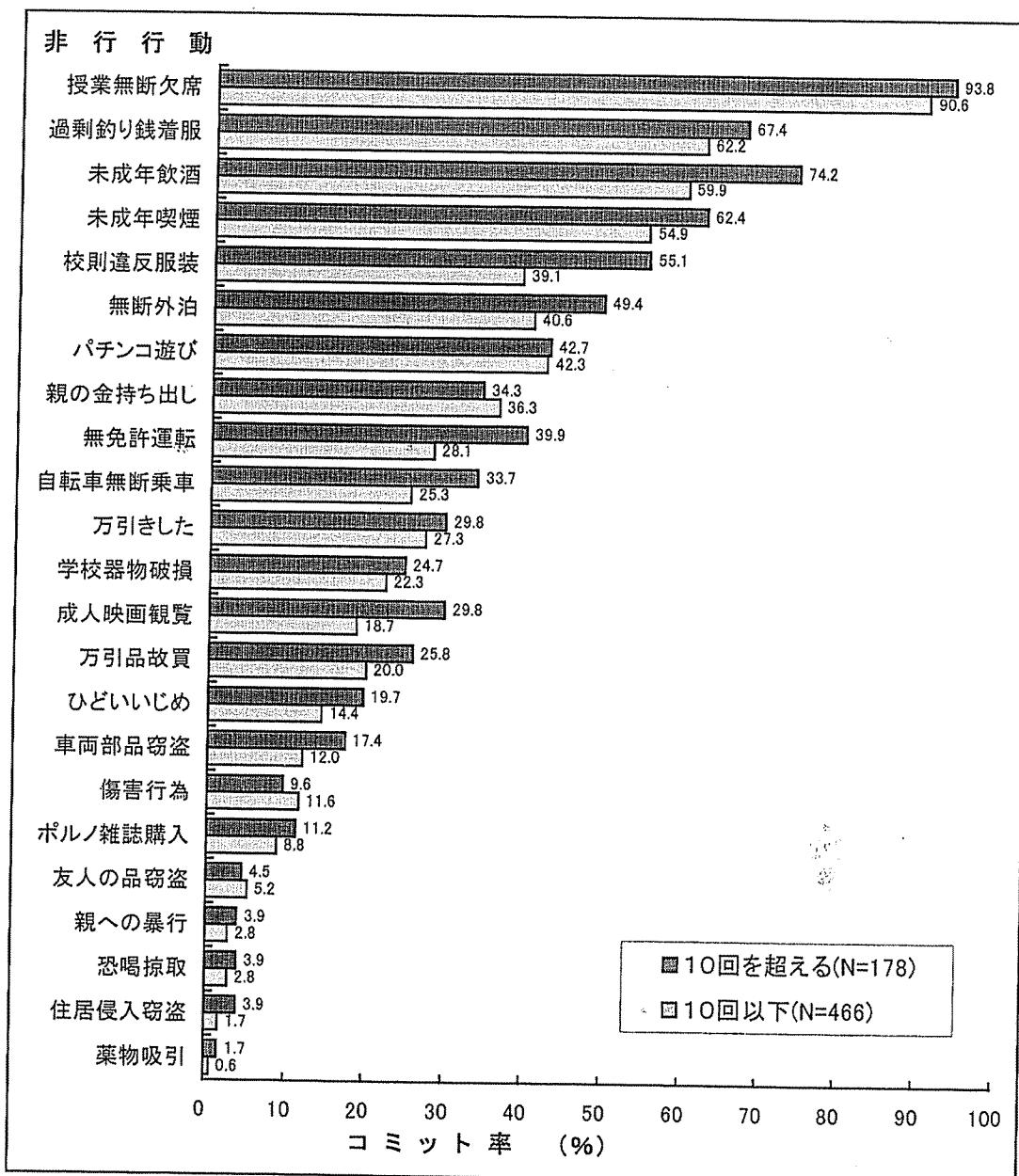


② 携帯電話利用と非行行動

携帯電話の利用頻度の高い者、特に1日10回を超えると回答した者の間では、数多くの非行行動のコミット率が高くなっている。なかでも、「未成年喫煙」、「校則違反服装」「無断外泊」「万引き品の故買」「車両部品窃盗」などの項目では、利用頻度の高さとコミットの率との間にリニアな関係が見られる。

(図表 50) 携帯電話使用頻度別非行行動

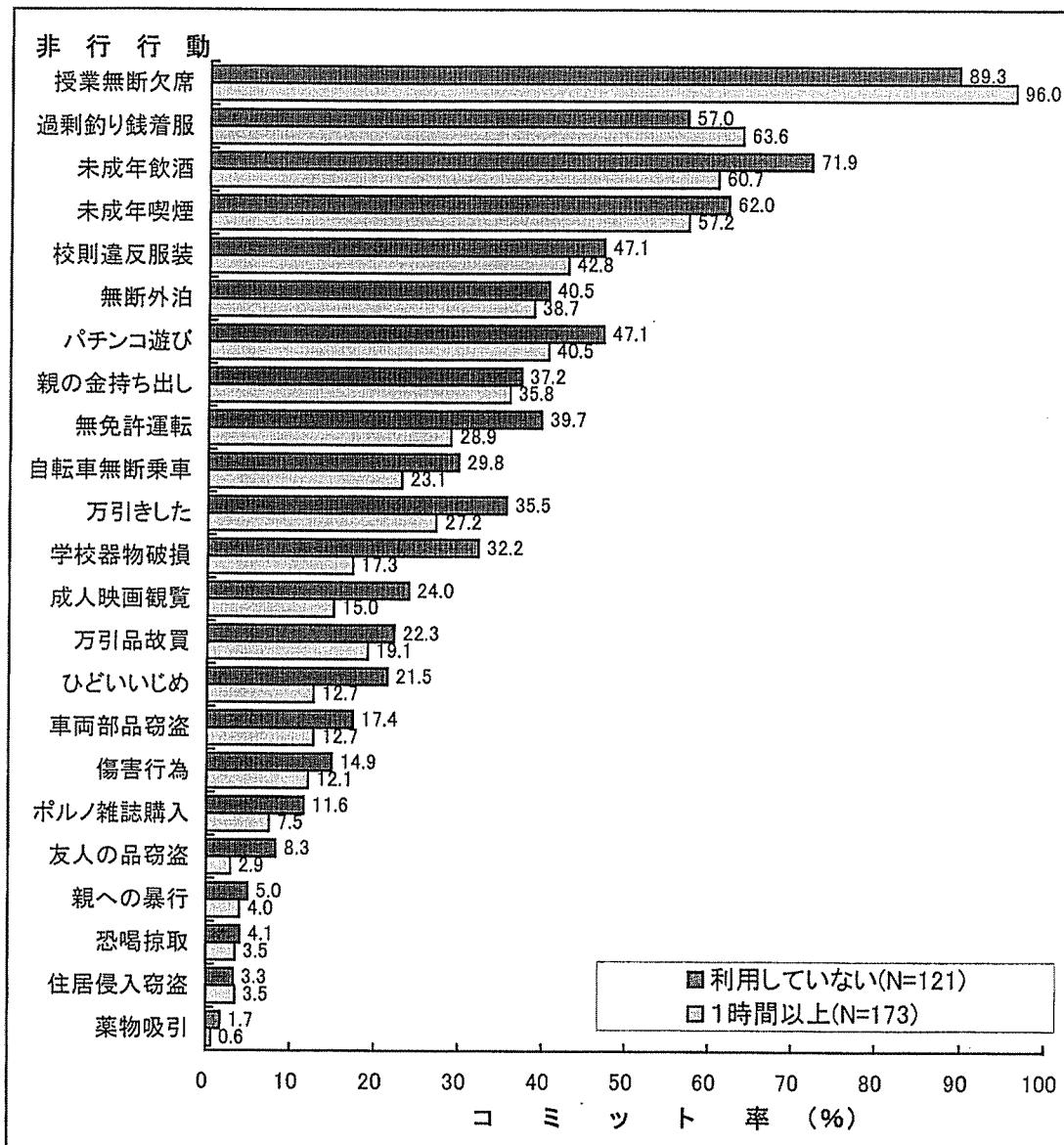


ただこの場合にも、携帯電話の利用と非行・犯罪行動との間に、ただちに因果関係を想定することは危険であろう。

③ インターネット利用と非行行動

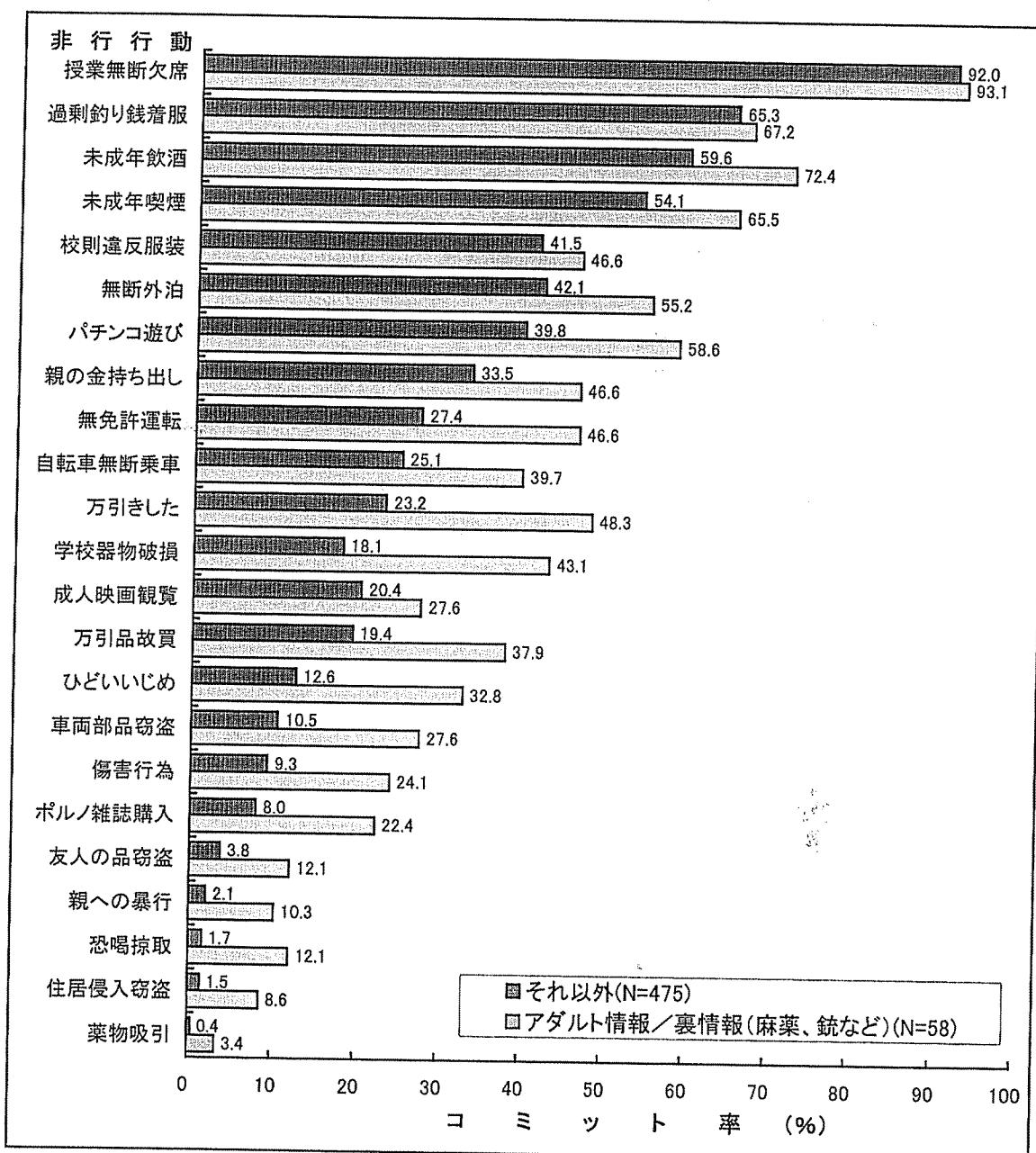
まず、インターネット利用の時間量と非行行動のコミット率との関係を見ると、「利用していない」と答えた者の方が、多くの行動に関してコミット率が高く、長時間利用者の方がむしろ相対的にコミット率が低い、という結果が見られる。

(図表 51) インターネットの利用時間別非行行動

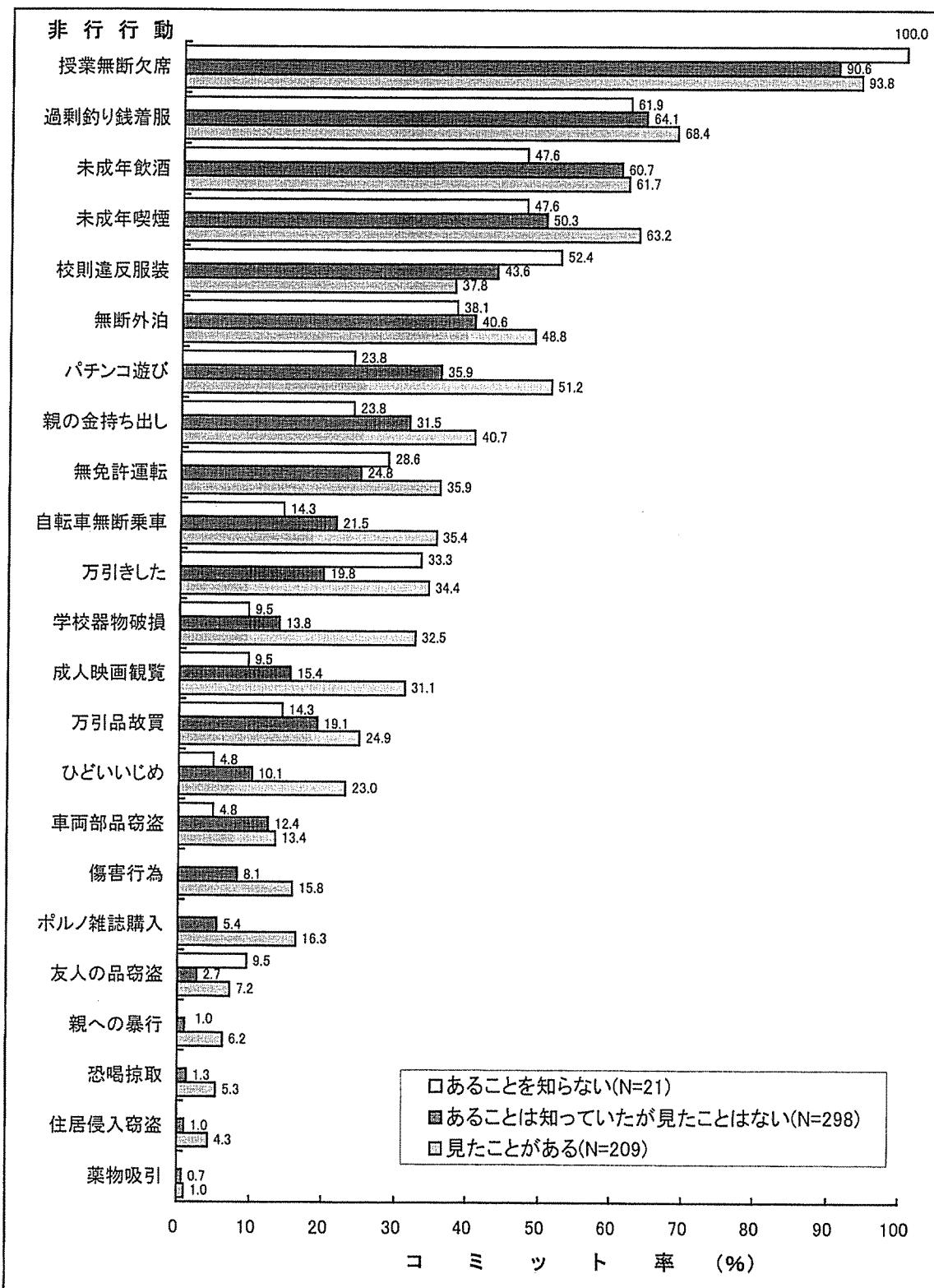


この傾向は、テレビの視聴時間量の場合と似ており、携帯電話の利用頻度とはむしろ逆のかたちになっている。ただ、ホームページで「アダルト情報」や「麻薬・銃などの裏情報」にアクセスしている者は（絶対数は少ないけれども）、そうでない者に比べて、ほとんどの非行行動項目についてコミット率が高い。また、「ポルノ画像」へのアクセス経験を持つ者も、そうでない者に比べて、多くの非行行動のコミット率が高い。

(図表 52) 閲覧経験内容別非行行動



(図表 53) ポルノ画像のアクセス経験別非行行動



これらの相関関係についても、テレビ番組の暴力シーンと非行行動の場合と同じように、短絡的な因果関係を想定することは早計といえよう。更にきめ細かい調査が必要である。